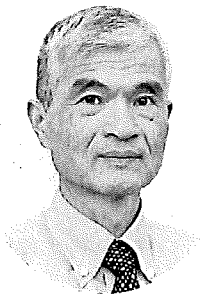
 <p>きずな 第48号</p>	発行	神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会
	発行責任者	会長 牛島 秀保
	編集責任者	総務・広報委員会 副委員長 杉山 五月
	印刷所	貴峯荘ワークピア印刷科 0463-35-6170
神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会 会報		

新年のご挨拶

会長 牛島 秀保



会員の皆様におかれましては、恙なく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げますとともに、日頃の活動に感謝申し上げます。

今年で本協議会は、設立20周年の成人式を迎えますが、こうした中、第二期スポーツ基本計画(2017年～2021年)が策定されました。スポーツで「人生」が変わる！「社会」を変える！「世界」とつながる！「未来」を創る！として、障がい者スポーツ関係では、障がい者(成人)の週1回のスポーツ実施率を19%から40%へ、障がい者スポーツ指導者を2.2万人から3.0万人への拡充などを掲げています。

この基本計画に基づき、2020東京オリンピック・パラリンピックを挟み、障がい者スポーツの普及拡大(裾野を広げる)に向け、私たちに求められることが益々多くなってくると思われます。

また、神奈川県議会本会議で「障がい者スポーツの推進の中心となる団体の設立」についての質疑が行われ、前号で述べた「神奈川県障がい者スポーツ協会」関連の検討会議が昨年末に開催されました。会議では、組織の設立に向けて賛同を得ましたが、エリアを政令都市も含んだ県全体とするかなどが論議され、引き続き検討を重ねることとなりました。

さて、今年は役員改選期となり、役員推薦委員会が活動を開始致しました。私事ですが、身体障害者スポーツ指導者の資格を取ってから今年でちょうど40年を迎えます。思うところがあり、今年度限りで公認上級スポーツ指導員の登録を終了することとしましたので、自動的に会長職も解任となります。意のある会員の皆様の積極的な役員への立候補や、この人を是非役員と思われる方々の推薦につきまして是非ご協力をお願い致します。

昨年、相撲界で横綱の暴力事件がありました。残念ながらスポーツ界は縦社会、上から目線がまだまだあるように思います。6年前会長就任にあたりお伝えしたことを再度記載致します。国連総会の場でのダウン症の女性が「私の前を歩かないで下さい、私はあなたについて行けないから。私の後ろを歩かないで下さい、私はあなたをリード出来ないから。私の横を歩い下さい！」とアピールしたことです。障がい者スポーツを地域で推進するにあたり、このアピールを心にとめて活動していただければ幸いです。

この新しい年が、皆様にとって佳き年でありますよう心から祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

発足しました。「役員推薦委員会」(詳細別紙)

メンバー 杉山五月 隈元英孝 市丸夏実 上田義則 柳田久子

平成29年10月28日(土)～30日(月)
第17回全国障害者スポーツ大会
「^{えがお}愛顔つなぐえひめ国体」

スローガン

君は風 いひづちを駆け 瀬戸に舞え

於：愛媛県総合運動公園陸上競技場 他



神奈川県選手団コーチとして

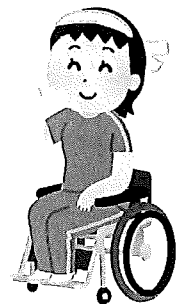
相澤 牧子

私は久しぶりに、陸上競技コーチで参加させていただきました。

開会式は、台風22号の影響で雨の中で行いました。雨が降る中、とても寒かったですが、競技場を行進した選手やコーチに、応援席にいた選手やコーチが大きな声援を送っていました。

1日目と2日目は、競技場が雨でぬれていて、コンディションはよくありませんでした。また2日目は、雨の影響で残念ながら中止になってしまった競技もありました。しかし3日目は、晴天の中でのレースでした。今回の大会は雨の中での競技が多かったが、みなさんベストをつくしていました。また、雨の中でも、仲間の応援のために競技場へ行き、大きな声で応援する姿がとても印象に残りました。

今回の大会は、身体と知的の宿舎が違いましたが、競技場に行くと和気あいあいと話をしたり、交流したりしている姿が多く見られ、嬉しく思いました。大会中は早朝5時30分から朝食、6時20分にホテル出発という日程で大変でしたが、終わってみればあっという間の楽しい時間でした。今回、選手やコーチと交流することができ、今後の県障害者スポーツ大会が、より楽しみになりました。



崎山あさみ

私は、水泳のコーチとして参加しました。水泳のコーチとしての参加は5年ぶり！でした。

「愛媛…去年の岩手より暖かいだろうなあ…」という期待をよそに、気温は神奈川と変わらず寒く、大会期間中は台風が接近するかもしれないという、行く前から懸念が多い大会でした。水泳の会場は屋内ですが、本来の控え場所は屋外。天候悪化にて急遽屋内へ変更したものの、動線の一部は寒く、寒さ対策が必要でした。

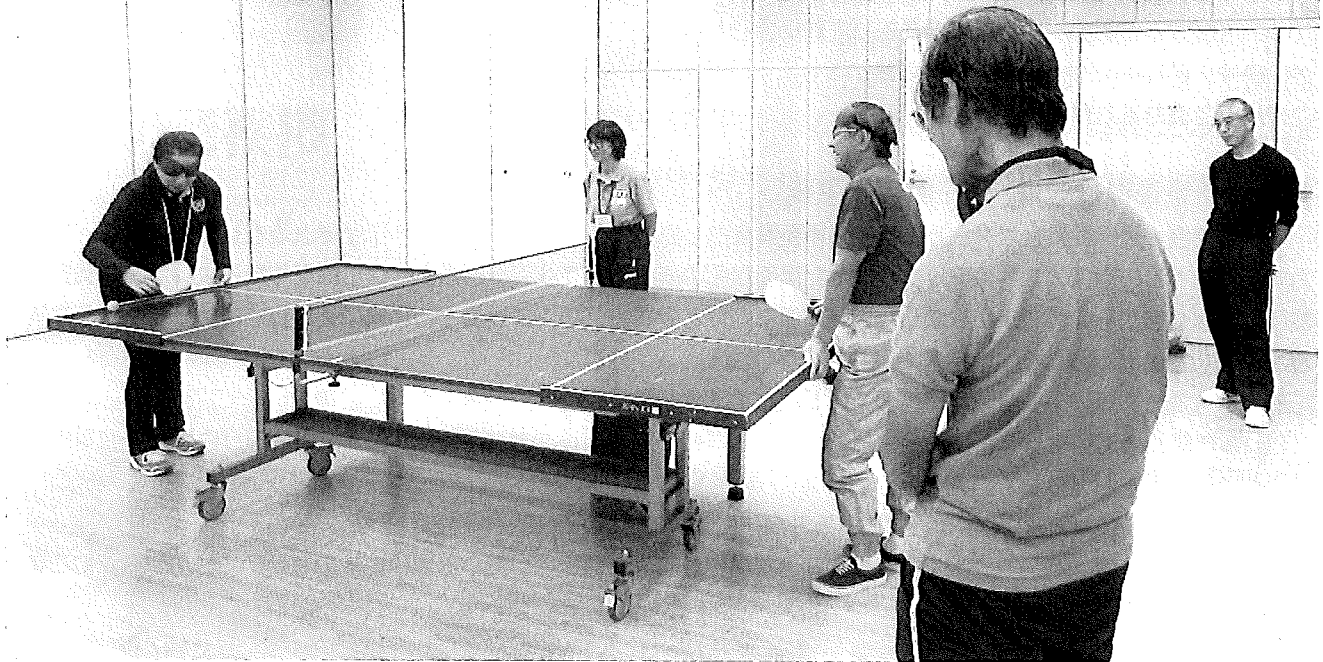
大会期間中は、選手を第一に考えながらも、コーチ自身の体調管理も重要です。自身の体調が良くなければ、選手をしっかりとみることができません。また、団体行動が主であり慣れない環境であるため、選手ができるだけ落ち着けるように環境調整をし、生活面だけでなく、精神面をフォローすることが大切であると改めて実感しました。

久しぶりの水泳で、初めてのヘッドコーチという、私自身が慣れないことばかり。他のコーチや選手、手話通訳者、現地の実施本部員や学生ボランティアにフォローしてもらいながら、無事に大会を終えることができました。ありがとうございました。

また、最近、パラリンピックに向けて、障がい者スポーツの競技レベルが向上してきています。今回の全スボも非常に感じました。今後は、競技面のスキルアップも求められると思われます。



「視覚障がい者のガイドとSTT体験研修会」



参加者の感想

大谷裕之

寒川総合体育館で行われた「視覚障がい者のガイドとSTT体験」研修会（10月14日（土））に参加した。初級障がい者スポーツ指導員の私にとって3回目の研修である。広く、スポーツ大会に参加し、また、サポートを行えるように、毎回、それぞれの障がい者スポーツ競技に必要な基礎知識と共に、実際に障がいのある方の立場を知ることができるような研修をしていただいていると感じている。

今回は、午前の2時間は視覚障がい者のガイドの考え方とガイドの仕方を、午後の2時間はサウンドテーブルテニス（STT）の実技の研修を受けた。今まで実際にSTTの試合を観戦したことはないが、STTの練習のため、練習場まで視覚障がい者の同行援護を行った際に見学したことがあった。その時はサーブを繰り返して練習しており、静かな雰囲気微妙に難しいスポーツであると感じた。晴眼者にとっては、アイマスクで生ずる見えない世界は、実際の生活とは別として考えてしまうが、視覚障がい者の方は、動きや感覚は普通の生活と同質のものであるだろう。アイマスクを着けてボールを受けるときに、音を頼りに、ボールの来る地点はこの辺り、返すラケットの面はこの方向かと、予測と確信を持って出来ないのは、全く視覚で判断できない故である。講師の軽妙な話し振り、壺を押えた説明、参加者を積極的に動かす指導方法であったため、穏やかな雰囲気の中でスポーツ競技のSTTを幾らかでも知ることが出来た。実際に練習を積み重ね、競技に参加すると、細やかなルールが逆に深みのあるスポーツを形成していると感じられると思う。講師の方は、STTは色々の理由で日本以外では行われていないのは残念と言っていたので、東京2020年パラリンピックには余りにも時間が短すぎるが、長い目で競技を広めていけば、逆に、更に国外への発展の余地があるのではないかとと思われる。

鈴木みさ子

前回の講習会も申し込みをしておりましたが、ぎっくり腰でキャンセルをした経緯があったため、今回は参加ができて本当に良かったです。障がいについての説明や視覚障がい者へ誘導する側とされる側の違いと難しさを体験できたのはとても勉強になりました。また、貴重なSTT競技を実際に体験できた事も良かったです。

総務・広報委員会 委員長 赤坂 美保子

今回の「きずな」には、県会員会費未納の方に会費の振込用紙を同封しております。お手元に届きましたら、お振込みいただくようお願いいたします。また、国登録会員の方々（活動記録手帳をお持ちの方）で今年度の会費未納のかたは早急に会費を納入してください。振込用紙を紛失された方は、日本障がい者スポーツ協会＝登録指導者用電話（03-5695-5420）に登録番号を告げて問い合わせられるか、または、冊子（NO Limit）に振込口座が記載されています。御確認のうえ、ご入金を御願ひ致します。会費未納の場合には、必要な連絡が届かない場合もございます。ご理解とご協力をお願いいたします。

競技・研修委員会 委員長 隈元 英孝

競技委員会・研修委員会が併合して競技研修委員会としてスタートし、ようやく一年が経とうとしております。競技力向上と指導者の皆様のスキルアップといった両面からの底上げをすべく、どのような活動をしたらよいか？委員会に於いて検討しながら進めてまいりました。新年度に向けて委員会一同、より多くの皆様に参加していただけるような講習を企画していきたいと思ひます。

昨年は救急救命講習・視覚障がい者のガイドとSTT体験講習を行い、多数の方々にご参加いただきました。

2018年最初の活動として、協議会主催の指導者講習会・陸上競技の部を平成30年3月18日（日）伊勢原養護学校のグラウンドをお借りして開催予定です。

時間は9:30～11:45の予定で、主に車椅子競技についての講習を予定しております。

今後も全国障害者スポーツ大会での競技力向上を目指して講習会を行いたいと思ひますので、たくさんの方々にご参加いただけますようお願い致します。

秦野支部からのお知らせ

平成29年度は秦野支部の活動について、ご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。

平成30年度もよろしくお願ひいたします。

まず、6月3日（日）に、秦野市障害者福祉協会と秦野支部の共催で、秦野市カルチャーパーク総合体育館を会場に、フライングディスク大会を開催します。

また、10月20日（土）に、同じく総合体育館を会場にパラスポーツフェスティバルが開催されます。

秦野支部だけでは活躍スタッフが不足しておりますので、広く県内の会員の皆様にご参加、ご協力をお願ひいたします。

フェスティバルの詳細につきましては未定の部分が多く、明記できないことをお許しください。

これらの行事にボランティアとして参加して頂ける会員さんは

電話 …………… 0463-81-0913

携帯電話 …………… 090-7701-9358

FAX …………… 0463-83-0810

メールアドレス … mihokoaka32@hotmail.com

いずれかの方法で、赤坂までご連絡をお願いいたします。

ご連絡を頂けましたら、詳細の説明をさせていただきます。

秦野支部では他にも、毎月一回のパラスポーツ教室を開催しております。様々な種目と取り組んでおりますので、奮ってご参加ください。

ご質問等ありましたら、上記のアカサカまでご連絡ください。よろしくお願ひ致します。

ヨコスカ支部活動報告

ヨコスカ支部は、支部発足後初めての自主開催研修及び実践を行いました。

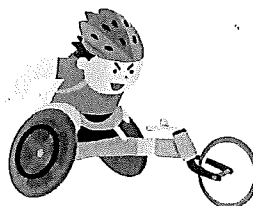
平成29年9月9日（土）横浜ラポール見学会と車いすアルティメット体験 約10名の参加が有りました。

ラポールを見学した感想として、障がい者スポーツの概略が実際に分かって良かったとの声が上がっていました。

実践としては、12月2日（土）車いすマラソン日産カップ2.5kmトライアルの部に3名が出場しました。結果は、2名が入賞1名が16位と初めてにしては大健闘でした。

もっと収穫が有ったことは、県立明光高校の生徒が参加し、来年はもっと早くから練習をし、是非3位以内にといい事と、同高校と連携が取れ、これからの活動の大きな足掛かりになりました。

加藤 明成

**編集後記**

第17回全国障害者スポーツ大会 愛顔つなぐえひめ大会は、大会期間中に通過した台風22号の為、競技中止などコーチ、選手共に大きな影響となり、メンタルのサポートを痛感しました。感想の原稿をお寄せ下さり、ありがとうございました。役員推薦委員会が発足。役割候補者がたくさん出ますように。

皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。